

平成28年度 事業別予算概要

事業名	21600	総合交通対策事業費	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市地域公共交通網形成計画	市長公約	・北陸新幹線駅や東海北陸自動車道沿線の都市圏と高山市を結ぶ広域公共交通の整備・充実を関係機関に要請し、実現します。誰もが気軽に遠くに出かけられたり、訪れやすくなるために、JR高山本線、北陸新幹線、高速バスなどの広域公共交通網と市内公共交通網のネットワークを充実します。 ・路線バス、自主運行バス(まちなみバス、のらマイカー)などの運行形態を見直し、市民の足の確保に努めます。
	課			2	総務費		基本分野	5		基盤・安全		
担当課	基盤整備部 都市整備課		予算	項	1	総務管理費	分野	3	公共交通	H28実施計画額	200,000 千円	
	内線			目	17	総合交通対策費		施策概要	1			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共交通利用者(市民、観光客等)	どうしたいのか(意図)	・多くの市民や観光客等に公共交通が利用されている ・路線の充実や円滑な乗り継ぎなど、利便性の高い公共交通が確保されている ・将来に渡って、持続可能な公共交通サービスが提供されている	概要	事業の実施手法(手段)	・効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築 ・地域バス(のらマイカー)、中心市街地バス(まちなみバス)の運行 ・事業者や関係団体との連携による公共交通利用促進策の展開 ・同盟会活動による高山本線の輸送力強化やリニア中央新幹線の建設促進 ほか
	対象者数	200,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市公共交通活性化協議会の開催(H26.5、H26.9、H27.1) ・上宝蔵柱線の全便デマンド化ほか運行効率化のための見直しを実施 ・利用促進策の実施(のりものフェスタ、ガイド付きバス、ギャラリーバス、時刻表作成ほか) ・H26延べ利用者数 のらマイカー 127,003人、まちなみバス 37,060人 						
		指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	路線数	路線	目標値	30	30	30	30	
			実績(見込)	30	30	30	30	
成果指標	延べ利用者数	人	目標値	200,000	200,000	200,000	200,000	
			実績(見込)	172,216	164,063	170,000		
成果指標	1便あたりの利用者数	人	目標値	5	5	5	5	
			実績(見込)	4	4	4		
補足	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
補足	算出根拠等	達成率(%)	85	82	85			
		目標値						
補足	算出根拠等	実績(見込)						
		達成率(%)						
補足	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
補足	算出根拠等	達成率(%)						
		目標値						
補足	算出根拠等	実績(見込)						
		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数を増加させる効果的な利用促進策の展開 ・運行の効率化等を図るための評価・分析による、路線・運行方法等の見直し ・北陸新幹線の延伸を契機とした、鉄道会社が増便したくなるような魅力ある観光ルートや観光商品等の提案、広域連携した取組み
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意見の聴取、見直しに向けた説明会等の開催 ・利用促進策の展開(のりものフェスタ・ガイド付きバスなど従来からの取組みに加え、1支所1提案の利用促進策を実施) ・デマンド化を含めた運行方法見直し、少量輸送体制の検討 ・引き続き、同盟会を通じて、鉄道会社に対して要望活動を行う 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド化を含めた運行方法見直しや少量輸送体制の検討など、効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築に取組む ・今後も同盟会を通じて、鉄道会社に対して要望活動を行う
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実態の把握・検証により、運行の適正化に向けた見直しやデマンド運行の検討など、利便性に配慮しつつ効率性の向上を図る必要がある ・今後も同盟会を通じて、鉄道会社に対して要望活動を行う
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	186,191	200,103	203,633	203,054
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,081	1,220	1,018	1,015
	受益者	公共交通利用者(市民、観光客等)	(B)	172,216	164,063	200,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市コミュニティバス「まちなみバス」「のらマイカー」の運営 ・各種同盟会による要望活動 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会組織の見直し及び国庫補助の活用 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進策の強化(運賃収入の確保) ・運行方式の見直し、少量輸送サービスの導入等の検討
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	203,633	203,054	△ 579	203,794	203,794	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	14,000	14,000	0	14,000	14,000		
一般財源	189,633	189,054	△ 579	189,794	189,794		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	41510	アスベスト対策事業費		予算	会計	1 一般会計	基本目標	2 環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	市長公約
担当課		内線	2330		款	4 衛生費		基本分野		
					項	1 保健衛生費	分野	2 生活環境	実施計画事業	アスベスト対策事業
					目	5 生活環境費	施策概要	3 公害対策の強化	H28実施計画額	5,000 千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	補助対象建築物の所有者又は管理者	どうしたいのか(意図)	・アスベスト等の飛散による市民の健康被害を予防し、生活環境の保全を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・民間が実施するアスベスト含有調査及びアスベスト除却等に対して助成する
	対象者数	— 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 含有調査3件 除却等 1件 制度周知 広報たかやま 含有調査補助の利用者(アスベスト含有あり)への除却工事実施の意向調査 吹き付けアスベスト建材が使用されている建築物所有者への助成制度活用周知 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		アスベスト含有調査件数	件	目標値	8	8	4	4
	算出根拠等		実績(見込)	2	3	4		
	活動指標	アスベスト除却等件数	件	目標値	2	4	2	2
		算出根拠等		実績(見込)	2	1	1	
	活動指標	アスベスト除却等件数(累計)	件	目標値	8	12	14	16
		算出根拠等		実績(見込)	7	8	9	
	補足	算出根拠等		達成率(%)	88	67	64	
				目標値				
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・大規模な建築物への周知・意向調査は概ね終了したため、更なる制度利用者の増加に向け、施工業者等にも助成制度の周知・意向調査が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・制度周知のため、引き続き広報たかやまへの掲載や、施工業者等に向けて意向確認を行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載など積極的なPRを行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)		(A) 4,196	2,435	5,000	5,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B) 1,049,000	608,750	1,000,000	1,000,000
	受益者	補助申請者	(B)	4	4	5

5 予算編成(Action2)

事業内容	アスベスト含有調査費に対する助成 アスベスト除却工事費に対する助成 調査・除却に向けた啓発活動	要求のポイント	アスベストによる市民の健康被害を防止するために必要な経費を計上	事業実施の課題	アスベスト除却の指導をしている県と連携が必要 アスベストが吹き付けられている建築物所有者に対する除却工事実施の啓発
------	---	---------	---------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,000	5,000	0	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	3,000	3,000	0	3,000	3,000		
県支出金			0				
一般財源	2,000	2,000	0	2,000	2,000		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	74100	都市計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市都市基本計画、高山市景観計画		市長公約
	款			7	土木費	基本分野		5	基盤・安全		実施計画事業	都市計画推進事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費	分野	1	土地利用	H28実施計画額		39,000 千円	
				2317	目	1	都市計画総務費	施策概要	1		総合的な土地利用		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市が健全に発展し、秩序ある整備を図る ・建築基準法等の適合により良質な居住環境を整備する ・秩序ある土地利用と美しい景観の創出を推進する ・公共建築として求められる品質を確保する 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画行政に必要な情報の収集や知識の習得、各種都市計画制度の活用等 ・建築確認及び各届出の審査等 ・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例による届出の審査、確認 ・公共建築工事に係る設計及び監理業務等の委託
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基礎調査・解析、市街地交通状況実態調査の実施 ・建築確認申請(市)16件、建築確認申請(県)7件、完了検査申請16件、位置指定道路10件、都市計画法第53条許可申請等8件 ・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例 大規模開発届24件、中規模開発計画110件、小規模開発計画68件、景観重点区域内行為届出115件 ・市有建築物の改修等に係る設計及び監理業務等を委託し、工事の適正な実施につとめた 					
		指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27
活動指標	都市計画関係研修参加者数	人	目標値	5	5	5	5
			実績(見込)	4	2	5	
活動指標	都市計画の決定、変更	件	目標値	2	2	2	2
			実績(見込)	2	0	2	
活動指標	建築確認申請件数	件	目標値	140	140	100	100
			実績(見込)	133	57	74	
活動指標	設計及び監理業務等委託発注件数	件	目標値	11	10	10	10
			実績(見込)	11	10	15	
活動指標	美しい景観と潤いのあるまちづくり条例による届出件数	件	目標値	180	180	180	180
			実績(見込)	254	317	206	
補足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・車両進入制限による歩行空間創出は、まずは一步を踏み出せるような取り組みを進める ・職員の審査能力の維持及び向上、違反建築物に対する適正な指導 ・市民、建築関係事業者等への景観基準の内容をより積極的な周知。また、区域の状況に合わせ基準の強化あるいは緩和 ・市有建築物の管理主体(指定管理者)との責任分担の範囲を明らかにし、必要な経費負担のみを負担すること
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間の創出に向けた車両進入制限の課題の洗い出しのため、地域住民との合意形成に取り組んでいる ・職場内研修による職員の審査能力の向上を図ると共に、建築行政マネジメント計画に基づいた違反建築物の指導、パトロールを行う ・建築関係団体に対して引き続き景観基準の周知を図る。開発基準等について宅建協会や行政書士会向けの研修会等を開催することにより届出書の審査期間の短縮、事務の効率化を図る ・公共建築工事の品質確保の取り組みを継続しつつも、コスト削減に向けた課題を整理する。企画、概算段階から参画し、良質な工事実施に取り組む 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、古い町並み周辺における車両進入制限による歩行空間創出に向け、地域住民との合意形成などに取り組む ・景観計画について、美しい景観と潤いのあるまちづくり審議会等の意見を聴きながら、見直しの検討を進める
	○拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員研修を進め、審査能力の維持及び向上を図るとともに、違反建築物への指導効果の体制を構築する。市民に対する景観基準の周知に加えて、建築関係事業者、宅建協会や行政書士会に対して景観基準、開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の遵守や手続きの円滑化を促進する
	○縮小	<ul style="list-style-type: none"> ・早期発注に努めるとともに効率的で効果的な業務委託の発注を行うことに取り組む
	○廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・早期発注に努めるとともに効率的で効果的な業務委託の発注を行うことに取り組む
二次評価	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、古い町並み周辺における車両進入制限による歩行空間創出に向け、地域住民との合意形成などに取り組む必要がある ・空き家対策を推進する必要がある ・引き続き、職員研修を進め、審査能力の維持及び向上を図るとともに、違反建築物への指導効果の体制を構築する。市民に対する景観基準の周知に加えて、建築関係事業者、宅建協会や行政書士会に対して景観基準、開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の遵守や手続きの円滑化を促進する ・早期発注に努めるとともに効率的で効果的な業務委託の発注を行うことに取り組む

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	5,067	22,027	19,763	24,499
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	13,093	58,896	70,582	87,496
	受益者	届出者・申請者	(B)	387	374	280	280

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画関係研修への参加、都市計画審議会の開催 ・建築確認申請等の受付、審査等 ・まちづくり審議会の開催、建築確認、開発許可申請等の受付・審査等 ・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例に関する説明会、宅建協会等に対する勉強会の実施 ・市有建築物の改修・改修等にかかる設計及び監理業務の委託 ・空家等調査の実施 ・無電柱化推進市区町村会議への参画 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な空家等対策の推進にかかる経費を計上 ・都市計画、景観行政、開発許可等による総合的な土地利用の推進に必要な事業費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、建築関係団体等への景観基準等の周知と遵守の啓発 ・市有建築物の管理主体(指定管理者)との責任分担範囲の明確化 ・ランニングコストを考慮した適切な施設設計 ・特定空家等の判断と是正に向けた指導等、空家の活用促進
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	19,763	24,499	4,736	24,183	24,183	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	2,800	6,400	3,600	6,500	6,500		
県支出金	75	77	2	65	65		
その他	2,381	930	△1,451	1,262	1,262		
一般財源	14,507	17,092	2,585	16,356	16,356		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	74120	建築物耐震対策事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市耐震改修促進計画	市長公約	市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
	款			7	土木費	基本分野		5	基盤・安全		実施計画事業		
担当課	基盤整備部 都市整備課		2317	項	4	都市計画費	分野	4	住宅公園	H28実施計画額	46,600 千円		
	内線			目	1	都市計画総務費	施策概要	1	良質な住宅環境の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内にある建築物の所有者	どうしたいのか(意図)	・平成32年度までに住宅や一定用途・規模以上の建築物に関して耐震化率95%以上とするため、耐震診断及び耐震補強工事に対する助成制度を実施し、地震に強い安全・安心なまちづくりを目指す	概要	事業の実施手法(手段)	・耐震診断及び耐震補強工事に対する補助を行う ・広報たかやま、戸別訪問による耐震化の啓発 ・耐震診断士への説明会の開催 ・耐震診断実施者へのフォロー
	対象者数	— 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・木造戸建て住宅耐震診断 34件 ・建築物耐震診断 1件 ・伝統構法木造建築物耐震診断 1件 ・木造住宅耐震補強工事 8件 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	耐震診断実施件数	件	目標値	150	156	120	123
			実績(見込)	66	36	59	
算出根拠等		耐震診断実施件数/耐震診断目標件数	達成率(%)	44	23	49	
活動指標	耐震補強工事実施件数	件	目標値	36	35	21	20
			実績(見込)	11	8	11	
算出根拠等		耐震補強工事実施件数/耐震補強工事目標件数	達成率(%)	31	23	52	
成果指標	住宅の耐震化率	%	目標値	90	90	90	90
			実績(見込)	65	65	65	
算出根拠等		耐震強度のある住居の戸数/全住居の戸数	達成率(%)	72	72	72	
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断実施者の増加を図るため、継続的に啓発活動を行う。 ・耐震診断実施者が耐震補強工事につながるよう、個別相談会などのフォローアップを行う。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用した耐震化を図るため、診断者の育成と制度の周知を図る。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市耐震改修促進計画の見直し(年度内) ・耐震診断実施者への耐震補強工事に関する個別相談会の実施 ・耐震関係事業全般の啓発(広報たかやま、戸別訪問、町内会への周知等) 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物の耐震化を重点的に実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用した耐震化の一層の促進。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	24,944	22,530	60,610	44,510
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	323,948	512,045	429,858	324,891
	受益者	申請者	(B)	77	44	141	137

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断委託 ・伝統構法木造建築物耐震診断に対する助成 ・建築物耐震診断(木造住宅以外)に対する助成 ・木造住宅耐震補強工事に対する助成 ・伝統構法木造建築物耐震補強工事に対する助成 ・耐震啓発に関する活動 	要求のポイント	・伝統構法木造建築物耐震診断及び耐震補強工事に対する助成にかかる経費を計上	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強工事は工事費が高額となるため、耐震診断や耐震補強工事を敬遠する傾向がある ・伝統構法木造建築物に係る技術者・技能者の確保・育成 ・緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断義務化に関する検討 ・耐震改修促進計画の見直し(累計見直しに伴うもの) ・耐震化を図るためのより効果的な啓発活動の検討
------	---	---------	---------------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	60,610	44,510	△ 16,100	47,510	47,510	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	15,600	10,835	△ 4,765	8,600	8,600		
	県支出金	10,500	7,600	△ 2,900	7,000	7,000		
	その他			0				
	一般財源	34,510	26,075	△ 8,435	31,910	31,910		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	74500	緑地保全推進事業費	内線	会計	1	一般会計	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市緑の基本計画		市長公約
	課			7	土木費	基本分野		2	環境・景観		実施計画事業	緑地保全推進事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課			項	4	都市計画費	分野	1	地球環境	H28実施計画額		16,800 千円	
				目	5	景観保全総務費	施策概要	1	自然環境の保全と活用				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・潤いとやすらぎを感じることができる緑豊かな環境の保全・創出・活用を推進し、市民誰もが緑の恵みを受けられる環境を整備する。 ・緑化意識の高揚を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・施設緑化用花苗の配付、緑と親しむ日等におけるイベントの開催 ・市街地周辺の里山の取得 ・里山保全に協力する所有者に対する奨励金の交付 ・市指定保存樹等の管理に対する助成
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・松倉山市民ハイキング(6月1日)、結婚記念樹配付(6月17日～18日)の実施 ・片野町地内の里山を取得 ・里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付 ・市指定保存樹等の管理に対する助成						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	緑と親しむ日等に実施したイベント回数	回	目標値	3	3	3	3
	実績(見込)			2	3	3	
成果指標	算出根拠等 実施回数/計画回数		達成率(%)	67	100	100	
	緑と親しむ日等に実施したイベント参加人数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
成果指標	算出根拠等 イベントにおける参加人数の合計		達成率(%)	68	84	90	
	里山購入面積	㎡	目標値	60,000	60,000	10,000	10,000
活動指標	算出根拠等 里山取得面積/取得計画面積		達成率(%)	3	39	100	
	里山奨励金の件数	件	目標値	72	72	71	71
活動指標	算出根拠等 支出件数/契約件数		達成率(%)	96	93	94	
	保存樹等管理助成件数	件	目標値	35	35	35	35
補足	算出根拠等 支出件数/指定件数		達成率(%)	60	66	60	
	・緑と親しむ日等にイベントを実施することで、自然に親しみ、花や木を育てる機会を与え、緑化意識の高揚につながっている。 ・市街地周辺の里山の取得に向けた取り組みは、里山保全意識の啓発につながっている。 ・市指定保存樹等の管理経費の助成は、緑の保全につながっている。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・緑と親しむ日等に実施するイベントについては、事業主体の見直しも含めて実施する必要がある。 ・里山の取得については、費用対効果の検討も含めて適正な価格を設定し、交渉する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・里山取得については、開発行為が行われそうな、市街地からの景観上重要な箇所を選定し交渉を行う。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・緑と親しむ日等に実施するイベントについては、事業の改善や廃止の検討を含めた事業の見直しを進める。 ・里山取得については、適正な価格に基づいた地権者との交渉を進める。 ・緑の保全契約奨励金については、所有者等の適切な把握をするともに引き続き契約の啓発を図る。 ・保存樹等の管理補助金についても引き続き適正な助成に努める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	7,080	15,614	16,800	12,586
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	77	170	185	138
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市民の緑化意識の高揚を図るためのハイキング等イベントの実施 ・補助金を活用した緑化推進及び緑地保全 ・市街地を取り囲む里山取得等	要求のポイント	・緑化意識の高揚につなげるため継続的な緑化推進に関するイベントの実施に係る経費を計上 ・民間による緑地保全及び緑化を推進するため保全契約及び保存樹等に係る経費を計上 ・市街地から見た里山の景観を保全するため里山取得及び管理に係る経費を計上	事業実施の課題	・保存樹にふさわしい樹木を指定するには、保存樹の要件として必要な「健全かつ自然環境上保護が必要」であるかどうかについて専門家の意見を聞いた上で判断する必要がある。 ・里山取得に当たっては、それぞれの山林に応じた単価の設定が必要である。 ・今までに里山として取得した山林については、購入してから手入れがされていないのが現状であるが、昨年度の豪雪による倒木等で被害を及ぼした経緯もあり、適切な管理(除間伐など)の必要がある。
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	16,800	12,586	△ 4,214	17,800	17,800	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金		1,696	1,696	2,000	2,000		
	その他	13,126	6,742	△ 6,384	11,742	11,742		
	一般財源	3,674	4,148	474	4,058	4,058		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	74510	景観保全奨励事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	高山市景観計画,高山市歴史的風致維持向上計画	市長公約
	款			7	土木費	基本分野		2	環境・景観		実施計画事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課	内線	2317	項	4	都市計画費	分野	3	景観	H28実施計画額	28,300 千円	
				目	5	景観保全総務費	施策概要	1	個性ある景観の保全・活用			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・市街地景観保存区域における保存活動を支援することにより、美しい景観の保全・創出を図る ・景観保全に係る補助を実施することにより、美しい景観の保全・創出を図る ・屋外広告物条例に基づき、適正な屋外広告物の掲出を指導する	概要	事業の実施手法(手段)	・市街地景観保存区域の拡大及び保存会の活動に対して補助する ・景観保全に係る事業に対して補助する ・屋外広告物の許可申請事務を行う ・景観デザイン賞の表彰を行う
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地景観保存区域保存会助成件数 12件 ・市街地景観保存区域内建造物修景助成件数 11件 ・高山の景観にふさわしい看板補助金 9件 ・生けがき等設置補助金 6件 ・一般開放型便所改修補助金 1件 ・景観形成事業(塀等設置)補助金 3件 ・屋外広告物新規許可 255件 ・屋外広告物更新許可 286件 ・屋外広告物変更許可 3件 ・景観デザイン賞表彰事業 建築物の部 優秀賞 1件 奨励賞 2件 サインの部 表彰なし 緑のある情景の部 特別賞 1件 						
		指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	市街地景観保存区域保存会助成件数	件	目標値	13	13	13	14	
			実績(見込)	12	12	13		
算出根拠等			達成率(%)	92	92	100		
	活動指標	市街地景観保存区域建造物修景助成件数	件	目標値	5	8	10	
実績(見込)				11	12			
算出根拠等			達成率(%)	220	150			
	活動指標	景観重要建造物修景事業補助金	件	目標値	1	1	1	
実績(見込)				1	2			
算出根拠等			達成率(%)	100	200			
	活動指標	生けがき等設置補助金	件	目標値	16	17	8	10
実績(見込)				4	6	2		
算出根拠等			達成率(%)	25	35	25		
	活動指標	高山の景観にふさわしい看板補助金	件	目標値	11	11	11	13
実績(見込)				2	9	7		
算出根拠等			達成率(%)	18	82	64		
	活動指標	屋外広告物許可件数(新規・更新・変更)	件	目標値	710	710	710	710
実績(見込)				719	544	739		
算出根拠等			達成率(%)	101	77	104		
	補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建築関係団体に景観基準が十分周知・理解されていないケース等があるため、建築関係団体及び景観保存会に対して積極的に景観基準の周知が必要である。 ・市街地景観保存区域の更なる拡大に向けて、地域住民との合意形成が必要である。 ・違反広告物、既存不適格広告物の所有者及び管理者への許可基準の周知及び基準遵守の指導の強化 ・景観保全を行うにあたり既存条例では指導できない問題が生じているため、保存会と市が協働して当該問題解決の手法を検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・広報たかやまに助成内容を掲載するなどの制度周知や、制度利用が期待される市街地景観保存区域や伝建地区への意向調査を実施する。 ・市街地景観保存区域建造物の修景工事に係る意向調査を行い、効率的な補助金の活用を進める。 ・市街地景観保存区域の拡大に向けて、対象とする地域住民と協議し、合意形成を進める。 ・既存条例では指導できない問題の解決に向けて、景観保存会と協働して手法の検討を行う。 ・簡易除却の実施、更新許可の督促、既存不適格物件への改善指導を実施している。
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○維持・改善 ○拡大 ○縮小 ○廃止検討 ○維持・改善 ○拡大 ○縮小 ○廃止検討
二次評価	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	28,744	21,953	28,348	31,300
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	312	240	312	344
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業(市街地景観保存区域保存会補助金、市街地景観保存区域建造物補助金) ・補助事業(高山の景観にふさわしい看板補助金、生けがき等設置補助金、一般開放型便所改修補助金、景観形成事業(塀等設置)補助金、景観重要建造物補助金) ・屋外広告物許可申請業務等に係る事務費 ・加入景観団体等への負担金 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度末に下二ヶ町景観保存区域を指定したことから、市街地景観保存区域は13保存区域となり、新規保存区域の指定を見込み14保存会への補助額を計上 ・高山の景観にふさわしい看板設置推進事業の拡充 ・平成26年度より各種補助制度において制度の拡充・新設を行っており、今後申請数の増加が見込まれる ・屋外広告物許可事務等に係る必要経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度より新設の市街地景観保存区域内建築物への修景補助の周知に伴い、多くの利用相談があるため、助成利用者や工事実施時期や工事内容などを協議しながら実施する。 ・建築関係団体に景観基準が十分理解されていないケースがあるため、それらの団体に対する景観基準の周知が必要である。 ・市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成が必要である。 ・景観保全を行うにあたり既存条例では指導できない問題が生じているため、保存会と市が協働して当該問題解決の手法を検討する必要がある。 ・違反広告物及び不適格広告物(条例適用時に適合しない部分がある広告物)に対する指導強化。 ・助成制度の周知に伴い多くの利用相談があるため、助成利用者や工事実施時期や工事内容などを協議しながら実施する必要がある。 ・景観重要建造物の積極的な指定及び保存・活用の推進。
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	28,348	31,300	2,952	33,113	34,913	・積算内容を精査	・高山の景観にふさわしい看板助成制度の拡充
	国庫支出金	9,320	11,835	2,515	12,240	13,050		
	県支出金	38	38	0	38	38		
	その他	2,750		△2,750	4,914	5,014		
	一般財源	16,240	19,427	3,187	15,921	16,811		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	74600	公園管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市緑の基本計画	市長公約
				款	7	土木費		基本分野	5		基盤・安全	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費	分野	4	住宅公園	H28実施計画額	120,000 千円	
			2337	目	6	公園管理費	施策概要	3	利用しやすく特色ある公園づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	市民や観光客が公園やまちかどスポットを安心・安全・快適に利用できるよう施設管理する。	概要	事業の実施手法(手段)	都市公園及び地区公園の改修と維持管理 まちかどスポットの維持管理 市道の街路樹の維持管理
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> 都市公園36箇所及び地区公園39箇所の維持管理 まちかどスポット107箇所の維持管理 市道(45路線)の街路樹の維持管理 						
成果面	成果指標	公園整備・改修箇所数	箇所	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		算出根拠等	大規模工事の発注箇所	達成率(%)	100	100		
	成果指標	公園利用満足度	%	目標・実績	100	100	100	100
		算出根拠等	モニタリング調査	達成率(%)	94	93	93	
	成果指標	市民一人当たりの公園面積	m ²	目標・実績	10	10	10	10
		算出根拠等	都市・地区公園/市民人口	達成率(%)	13	13	13	
	補足	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後も定期的な点検を行い、必要に応じて修繕、改修を行い、安全で安心して利用できる公園として管理していく必要がある。 モニタリング調査で得られた意見を参考にし、市民ニーズに応えられるよう管理していく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 遊具等の公園施設は、緊急度や利用度の高いものから順次修繕を実施している。 管理面においては、注意看板の設置など市民ニーズに応えられる内容は積極的に対応している。 公共施設街路樹管理に対する方針を定めコスト縮減と適正管理を図る。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的にを行い、安心して利用できる公園、まちかどスポット及び街路樹の適正な維持管理に努める。 引き続き指定管理者による効率的な施設管理を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	150,460	138,278	110,678	134,225
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,634	1,510	1,217	1,476
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園、地区公園、まちかどスポット及び街路樹の管理 都市・地区公園改修工事、突発工事 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客が公園やまちかどスポットを安全、安心、快適に利用できるようなするための必要な経費を計上 街路樹根上り対策などバリアフリー対策工事について予算計上 安心・安全に公園を利用してもらうための危険箇所の対策工事について予算計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 隔年剪定は枝葉が車両や歩行者の通行の支障になりやすく、植生上も好ましくないため、毎年剪定に変更していく必要がある。 公園を適正に管理するために使用している公園管理備品の老朽化が著しく、順次更新が必要である。 公園整備後、経年劣化により施設の修繕箇所が増加している。 街路樹や公園樹木の根上りによる危険箇所が増加している。 安全対策のため、城山公園を初めとする山林のある公園の腐朽危険木の伐採が毎年必要である。
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		110,678	134,225	23,547	120,178	120,178	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,400	17,757	16,357	400	400		
	一般財源	109,278	116,468	7,190	119,778	119,778		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	74700	歴史的環境保全整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市歴史的風致維持向上計画		市長公約
	種別			7	土木費	5		基盤・安全	実施計画事業		歴史的環境保全整備事業		
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費	分野	4		住宅公園	H28実施計画額	10,000 千円	
				2337	目	7		快適環境整備費	3	利用しやすく特色ある公園づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民		どうしたいのか(意図)	・人が集えるまちかどスポットを適正に配置し、市街地の利便性を高め周遊性の向上を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・休憩施設や情報掲示施設等を備えたまちかどスポットを「憩いの場」として整備する
	対象者数	90,938 人			・まちかどの歴史的風致の向上を図る			

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・憩いの整備工事(2箇所)							
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	まちかど整備箇所数	箇所		目標値	10			
実績(見込)			12					
算出根拠等	整備箇所/計画整備箇所		達成率(%)	120				
	憩いの場整備箇所数		箇所	目標値		2	3	3
実績(見込)					2	3		
算出根拠等	整備箇所/計画整備箇所		達成率(%)		100	100		
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	・横丁整備やまちかどスポットの改修により、地域コミュニティの場としての機能が強化され、地域の活性化につながっている							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・まちかどスポットについては、「見せる場」から「憩える場」へ整備転換し、休憩施設や情報発信施設の機能強化が必要である。 ・これまで整備した「周遊ルート」との相乗効果が得られる整備箇所の選定が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・まちかどスポット「憩いの場」の整備については、地域の方の意見をいただいた上で設計することとしている。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・憩いの場整備事業の計画に基づき、事業を実施する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 9,476	9,245	10,000	10,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 103	101	110	110
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・憩いの場整備工事	要求のポイント	・憩いの場整備の事業計画に基づき整備に必要な経費を計上 ・まちかどの休憩施設の充実を図る	事業実施の課題	・市街地には休憩施設が不足しているため、休憩施設の拡充が求められている ・地域住民、町並保存会など様々な意見をまとめ、工事に反映することが必要である ・当該整備においては、伝統的技法や地場産材を有効活用する必要がある
------	-----------	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	10,000	10,000	0	10,000	10,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	4,000	4,500	500	4,500	4,500		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	6,000	5,500	△500	5,500	5,500		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	75100	市営住宅管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市営住宅管理計画	市長公約
	課			款	7	土木費		基本分野	5		基盤・安全	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	5	住宅費	分野	4	住宅公園	H28実施計画額	110,000 千円	
			2338	目	1	住宅管理費	施策概要	2	市営住宅の効果的・効率的な供給と管理			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市営住宅入居者	どうしたいのか(意図)	・住宅に困窮する市民に対して、低廉な家賃で住宅を供給し、生活の安定を図る ・市営住宅の整備・改修を進め、居住者の生活環境の快適化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・年度ごとの家賃算定、毎月の家賃収入、入居者からの相談対応等 ・指定管理者との役割分担のもと市営住宅の維持管理を行う ・住宅修繕及び改修工事 1住宅改修工事 2空家改修工事 3突発修繕工事
	対象者数	806 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納整理業務の強化(課全員での対応、年間通しての滞納整理業務)による徴収率目標達成 ・指定管理者との連絡を密にした維持管理対応 ・町屋団地の一部、奥飛騨温泉郷団地の一部の教員住宅化・高山市営住宅管理計画の策定 ・桜ヶ丘団地、久々野団地、上ヶ洞中央団地、奥飛騨温泉郷団地の一部の公営化 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	家賃徴収率	%	目標値	95	95	95	95
			実績(見込)	96	95	95	
算出根拠等	家賃納付金額/家賃納付調定額		達成率(%)	101	100	100	
活動指標	市営住宅 入居集回回数	回	目標値	4	4	4	4
			実績(見込)	4	3	4	
算出根拠等			達成率(%)	100	75	100	
成果指標	市営住宅入居率	%	目標値	90	90	90	90
			実績(見込)	83	78	82	
算出根拠等	入居戸数/住宅全戸数(H26.3.31時点)		達成率(%)	92	87	91	
成果指標	市営住宅利用満足度	%	目標値	100	100	100	100
			実績(見込)	84	86	86	
算出根拠等	モニタリング調査		達成率(%)	84	86	86	
活動指標	管理計画達成状況	件	目標値	4	3	6	3
			実績(見込)	4	3	6	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
補足			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域の実情と需給バランスを考慮した住宅の適正配置が必要である。 ・滞納傾向にある居住者への早期指導と連帯保証人を含めた滞納整理の強化が必要である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・地域の実情に合わせて住宅の需給バランスを考慮し、配置の適正化に向けた検討をしている。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。 ・地域の実情に合わせて、配置の適正化を検討する。 ・市営住宅管理計画に基づく工事を実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	120,035	130,356	110,378	112,678
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	146,028	161,132	136,438	139,799
	受益者	市営住宅管理戸数	(B)	822	809	809	806

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅三福寺団地家賃借上 ・市営住宅土地借上 ・市営住宅の維持管理委託等 ・市営住宅の適正な維持修繕及び改修工事 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅を適正に管理するための予算を計上 ・老朽化の著しい住宅の改修に必要な経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者との連携を密にした維持管理や修繕の実施が必要である。 ・地域の需要に応じたバランスの良い住宅の供給が必要である。 ・総合計画に基づく次期管理計画の策定が必要である。
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		110,378	112,678	2,300	110,158	110,158	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	79,648	71,349	△ 8,299	80,158	80,158		
	一般財源	30,730	41,329	10,599	30,000	30,000		